

図書館だより

令和4年5月号
鳴門高校図書館



新年度になり1ヶ月が経ちましたが、新入生のみなさんも高校生活に慣れてきた頃でしょうか？先日、新入生を対象にしたオリエンテーションが終わりました。図書館の利用方法について説明をしましたが、分からないことなどがあれば司書に聞いてみてください。

利用案内

開館時間 平日 8:30~16:50
貸出期間 1週間
貸出冊数 10冊

休館のお知らせ

5月20日（金）は、午前中は司書不在のため休館します。（午後
は開館）

「読みたい本が図書館に無い！」と思うことはありませんか？
そんなときは…

① リクエスト

購入してほしい本をリクエストすることができます。用紙は図書館のカウンターに置いてあります。

② 取り寄せ

徳島県立図書館に所蔵されている本を取り寄せて借りることができます。県立図書館で貸出中でなければ、数日~1週間ほどで取り寄せ可能です。

*図書館の本は書庫にも置いています。棚を探して見つからなくても、書庫に所蔵している可能性があります。司書に聞いてみてください。



展示

2022 年本屋大賞

(書店員さんの投票で選ばれる賞)



『同志少女よ、敵を撃て』
逢坂冬馬／著



『赤と青とエスキース』
青山美智子／著



『スモールワールズ』
一穂ミチ／著

4 位 『正欲』
朝井リョウ／著

5 位 『六人の嘘つきな大学生』
浅倉秋成／著

6 位 『夜が明ける』
西加奈子／著

7 位 『残月記』
小田雅久仁／著

8 位 『硝子の塔の殺人』
知念実希人／著

9 位 『黒牢城』
米澤穂信／著

第 166 回
直木賞受賞作

10 位 『星を掬う』
町田そのこ／著

*貸出中の場合、予約できます！

愛鳥週間



5 月 10 日～5 月 16 日は愛鳥週間です。図書館では、「鳥」に関する本を展示中です。
その内の 2 冊を紹介します。



『野川』 長野まゆみ／著

両親の離婚により、都心から引っ越してきたばかりの音羽（おとわ）。転校先の中学校では、鳩を飼育しているという。サッカーを続けるつもりだった音羽だが、新聞部の先輩や顧問から勧誘を受けることになり…。

『カラスの早起き、スズメの寝坊 文化鳥類学の面白さ』 柴田敏隆／著

電線に並んでとまる鳥と、電車に並んで座る人間。春になると北へ移動する鳥と、会社で人事異動が行われる人間。鳥の行動や習性は、時に人の姿を連想させる。鳥と人間の関係について書かれたエッセイ。



図書館の出入口前の机やカウンターに、栞やフリーペーパーなどを置いています。
定期的に入れ替えているので、チェックしてみてください。
自由に持って行って構いません。

*『あわわ』、『ch FILES』は毎月届いています。